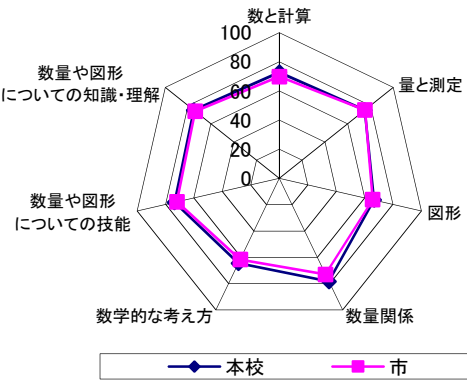


宇都宮市立清原東小学校 第3学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	72.8	69.8
	量と測定	75.0	75.2
	図形	66.7	65.7
	数量関係	78.4	73.1
観点別	数学的な考え方	64.5	61.7
	数量や図形についての技能	73.7	72.0
	数量や図形についての知識・理解	75.0	73.8



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	- 平均正答率は、市平均を上回った。 - わり算・かけ算・わり算の文章問題で正答率が高かった。 0を含むかけ算の正答率が低かった。	資料をもとにして計算をしていくような活用の問題の定着を図るために、多くの練習問題に取り組むようにしていく。
量と測定	- 平均正答率は、市平均と同等である。 - はかりの読み取りの正答率が高かった。 - ものさしの読み取り、身近な長さの把握、時刻と時間の理解の正答率が低かった。	ものさしを用いた長さの測定、時刻と時間の理解が不十分な児童には、指導の時間を確保し、復習をして定着を図る。
図形	- 平均正答率は、市平均を上回った。 - 直方体の等しい辺の長さの本数の理解は正答率が高かった。 - 直方体の面の理解は正答率が低かった。	- 図形の基礎的な理解（図形を構成する面の形）が不十分な児童には、復習する時間を設定し、定着を図る。 - 図形に慣れ親しませるために、図形を見たり、かいたりする活動を増やしていく。
数量関係	- 平均正答率は、市平均を上回った。 □を使った式の理解、棒グラフの読み取りの正答率が高かった。	資料の整理やグラフの書き方の復習の時間を確保し、より一層の定着を図る。